

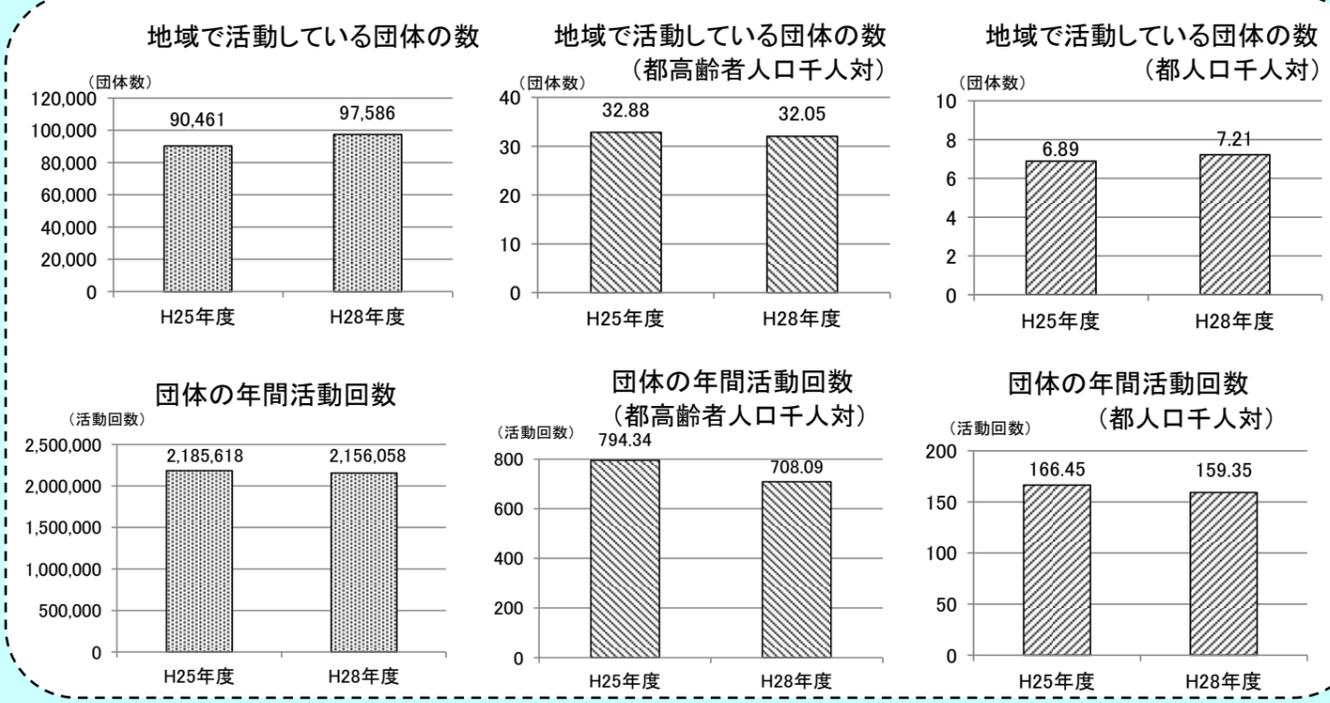
◆東京都健康推進プラン21(第二次)中間評価(分野別整理表)

領域と分野	分野別目標
3-3 高齢者の健康 3-4 社会環境整備	社会生活を営むために必要な機能を維持する 地域のつながりを醸成する

指標の推移

指標 (都の実施する区市町村調査)	ベースライン (平成25年度)	中間評価 (平成28年度)	指標の 方向	評価
①地域で活動している団体の数 [*]	90,461	97,586	増やす	-
高年齢人口 千人当たり	32.88	32.05		
人口 千人当たり	6.89	7.21		
②①の団体の年間活動回数	2,185,618	2,156,058	増やす	-
高年齢人口 千人当たり	794.34	708.09		
人口 千人当たり	166.45	159.35		

※健康、子育て支援、高齢、障害、生涯学習等の各部署で把握できる団体(各部署の公共施設等に登録又は利用実績がある団体や、各部署が活動を直接的・間接的に支援している団体)の数



これまでの取組

<都の取組>

- ◇地域のつながり醸成
 - ・都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査(平成25年度)
 - ・パンフレット「地元があなたを待っている」作成・配布

- <参考> 介護予防関連
- 東京都介護予防推進会議
 - 東京都介護予防推進支援事業
 - ・介護予防に関する情報共有システムの運用
 - ・介護予防推進支援センターの設置
 - 介護予防における地域リハビリテーション促進事業



- <関連分野>
(領域2)生活習慣の改善
分野2-1 栄養・食生活
分野2-2 身体活動・運動
分野2-3 休養
分野2-6 歯・口腔の健康

<区市町村に対する支援>

- ◇医療保健政策区市町村包括補助事業
 - ・地域のつながりを通じた生活習慣改善推進事業
 - ・健康づくりに対して関心が低い層に向けた健康づくり支援事業

- <参考> 高齢社会対策区市町村包括補助事業
- ・生涯現役社会に向けたシニアの社会参加推進事業
 - ・ふらっとハウス(地域サロン)事業 等

◆ 現状と課題/今後の方向性

- <現状>
- 運動機能や認知機能の維持とともに主観的健康感の維持のため、生活習慣の改善とともに地域活動等への参加など、地域とのつながりを醸成する必要があるが、地域活動への参加や近所づきあいは減少傾向にある。
- <課題>
- 高齢になっても健康で自立した生活を送ることができるよう、区市町村や保健医療関係団体、事業者・医療保険者等と連携し、高齢期における望ましい生活習慣を周知していく必要がある。
 - 地域や人とのつながりと健康との関連等、ソーシャルキャピタルの重要性について、さらに周知を図る必要がある。
- <今後の方向性>
- ホームページ等での、高齢期における望ましい生活習慣に関する普及啓発を実施
 - 区市町村等における生活習慣改善や地域のつながり醸成に向けた取組に対する支援を継続
 - 事業者・医療保険者等と連携し、退職後の健康づくり(地域や人とのつながり、コミュニティへの参加を含む)に関する普及啓発を継続

◆関連計画: 東京都保健医療計画、東京都高齢者保健福祉計画

◆ 分野別目標: 変更なし(ただし、前後比較が可能となる方法について要検討)

直近値に係る分析と評価

直近値に係る分析 (ベースラインからの動きについて(留意点含む))	評価 (直近の実績値に対する評価)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で活動している団体の数は増加傾向と考えられる。 ○ 高齢者人口が急増しており、高齢者千人あたりの団体数は減少傾向。 ○ 団体の年間活動回数は、各自治体での把握状況にばらつきがあり、前後の比較は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体での把握状況にばらつきがあり、数値のみで評価はできない。

◆東京都健康推進プラン21(第二次)中間評価(分野別整理表)

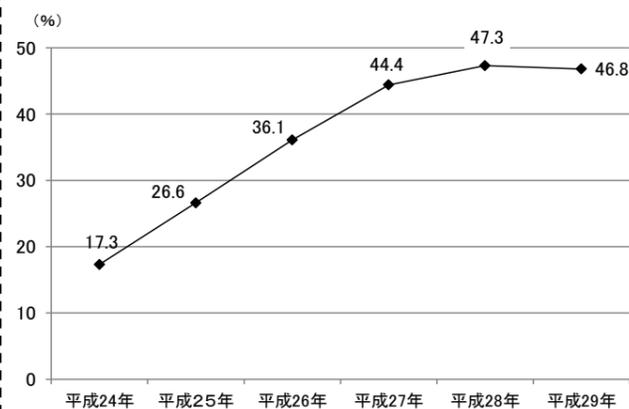
領域と分野	分野別目標
3-3 高齢者の健康 3-4 社会環境整備	社会生活を営むために必要な機能を維持する 地域のつながりを醸成する

参考指標の推移

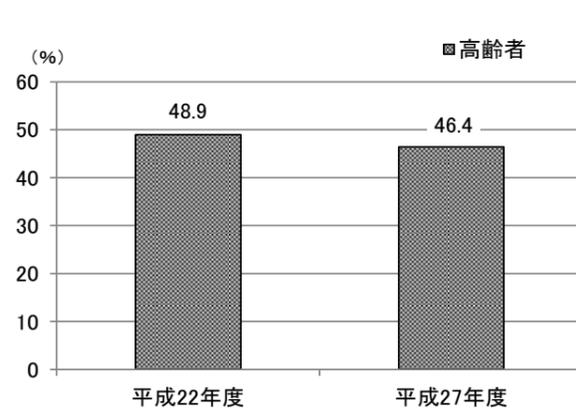
指標	策定時	最新値
<高齢者の健康> 1(1)ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度(全国) <公益財団法人日本整形外科学会(インターネット調査)>	(平成24年) 17.3%	(平成29年) 46.8%
1(2)高齢者の社会参加(スポーツや趣味等の活動をしている人の割合)<高齢者の生活実態(東京都福祉保健局)>	(平成22年度) 48.9%	(平成27年度) 46.4%
1(3)第1号被保険者に占める要介護認定者の割合 <介護保険事業状況報告(月報)(東京都福祉保健局)>	(平成23年 4月) 16.6%	(平成29年 4月) 18.4%
1(4)シルバー人材センター会員数 <公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)調べ>	(平成23年度) 男性:57,768名 女性:28,980名	(平成28年度) 男性:53,607名 女性:28,344名
1(5)高齢者の近所づきあいの程度(お互いに訪問し合う人がいる割合)<高齢者の生活実態(東京都福祉保健局)>	(平成22年度) 22.9%	(平成27年度) 18.7%

指標	策定時	最新値
<社会環境整備> 2(1)健康状態の評価(主観的健康感(自分自身の健康状態を「よい」「まあよい」と回答した人の割合の合計)20歳以上) <健康に関する世論調査>	(平成24年) 男性:80.4% 女性:81.8%	(平成28年) 男性:81.4% 女性:80.9%
2(2)地域などの子育て活動への参加経験 子育てをしている父親と母親で、過去1年間に「親子がともに参加できる活動やプログラム」「親同士の交流の機会やグループ活動(母親クラブなど)」「子供を保育しあったりするグループ活動」等に参加したことがある人の割合	(平成19年度) 父親:30.8% 母親:48.9%	(平成24年度) 父親:28.9% 母親:43.8%
2(3)地域のつながり等に関する都民の意識(地域活動への参加) <都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査(東京都福祉保健局)>	(平成25年度) 男性:28.6% 女性:34.6%	—

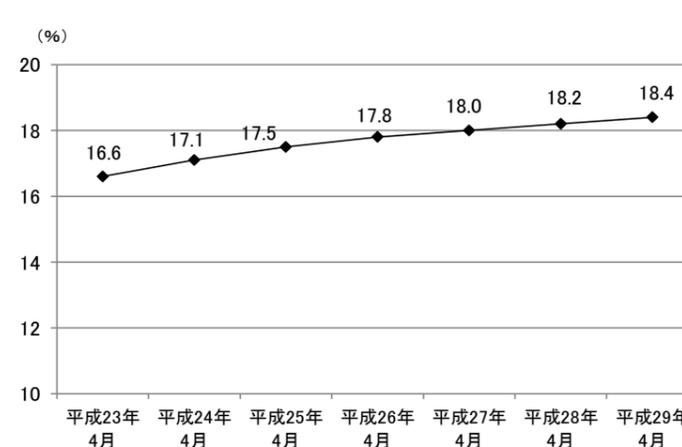
1(1)ロコモティブシンドロームの認知度



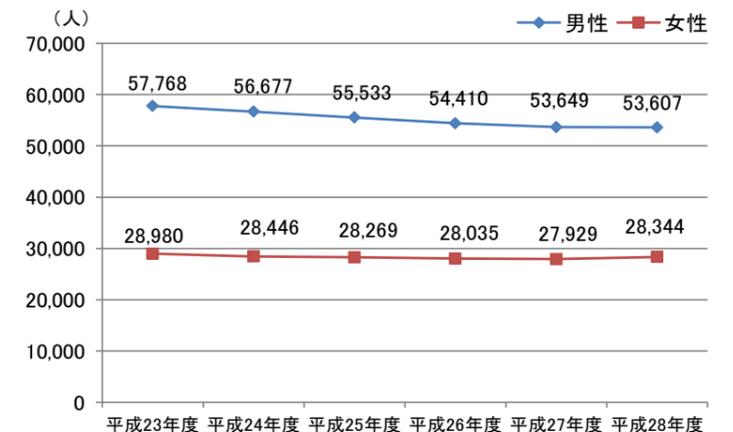
1(2)高齢者の社会参加



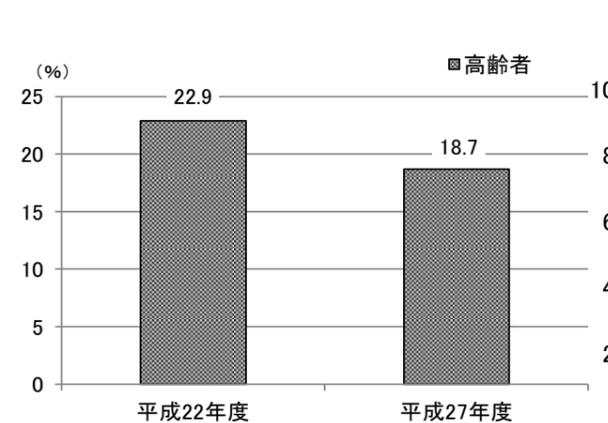
1(3)第1号被保険者に占める要介護認定者の割合



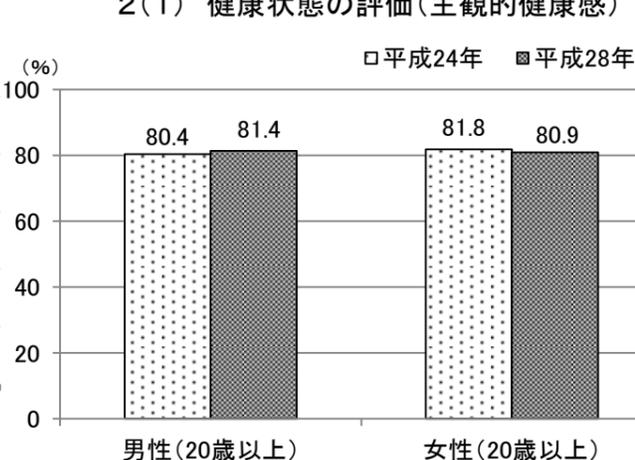
1(4)シルバー人材センター会員数



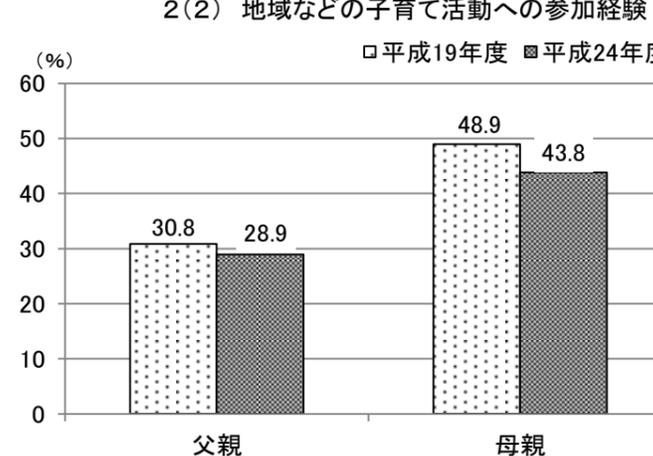
1(5)高齢者の近所づきあいの程度



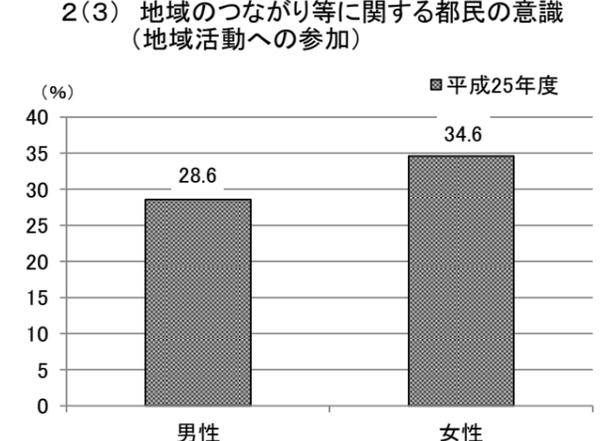
2(1)健康状態の評価(主観的健康感)



2(2)地域などの子育て活動への参加経験



2(3)地域のつながり等に関する都民の意識(地域活動への参加)



◆東京都健康推進プラン21(第二次)中間評価(分野別整理表)

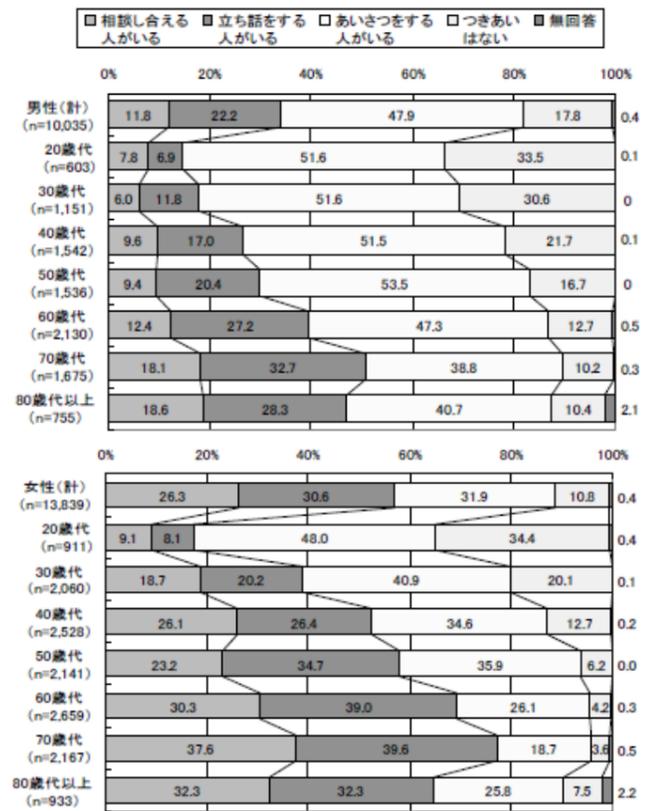
領域と分野	分野別目標
3-3 高齢者の健康 3-4 社会環境整備	社会生活を営むために必要な機能を維持する 地域のつながりを醸成する

参考データ

平成25年度都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査結果(標本数:67,425人、回収数:24,955人、回収率:37.0%)

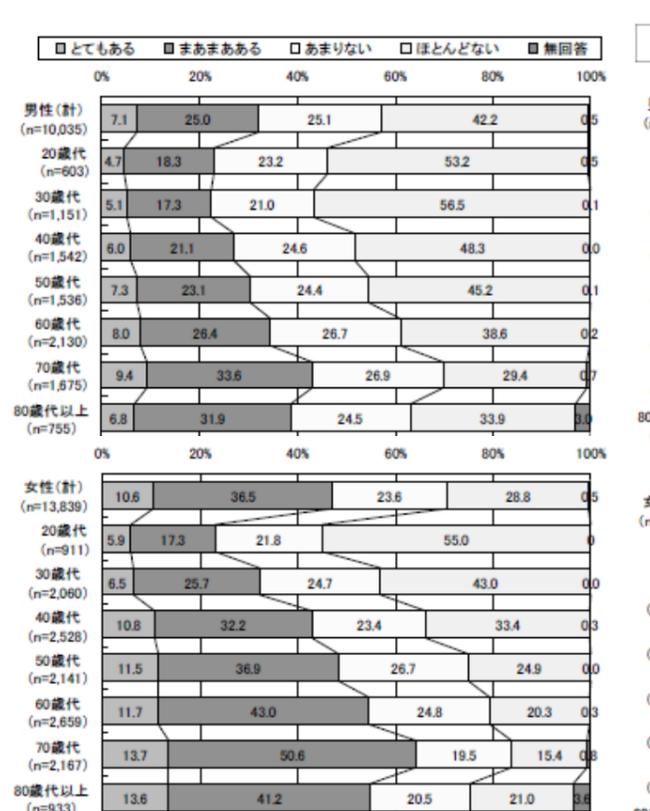
地域の人とのかかわりの状況

あなたは、地域の人との程度かかわりを持っていますか。この中からあてはまるものを1つお選びください。
1 相談し合える人がいる 2 立ち話をする人がいる 3 あいさつをする人がいる 4 つきあいはない



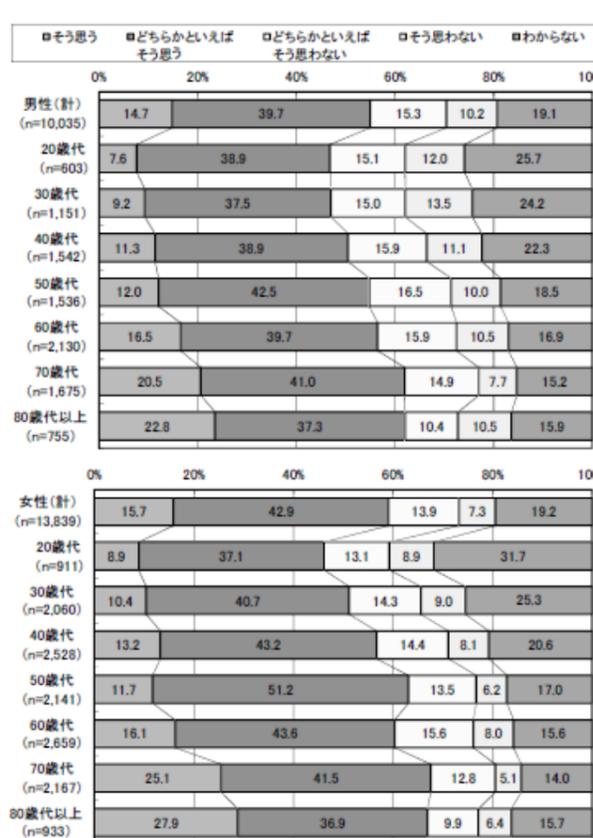
居住の地域における違う世代の人との交流の機会の状況

あなたは、お住まいの地域において、あなたと違う世代の方と交流する機会がありますか。あてはまるものを1つお選びください。(注:グループ活動等のほか、会った時に話をするなども含みます。)
1 とてもある 2 まあまあある 3 あまりない 4 ほとんどない



居住の地域に対する困ったときの助け合い、支え合いの意識

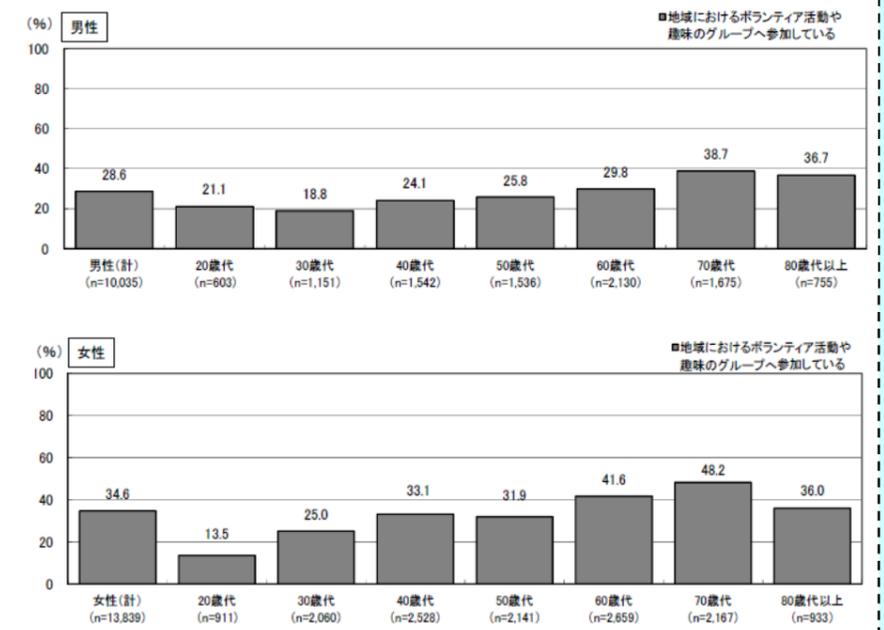
あなたのお住まいの地域は、困ったときに助け合い、支えあうと思いますか。あてはまるものを1つお選びください。
1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 5 わからない



地域のボランティア活動や趣味のグループへの参加状況

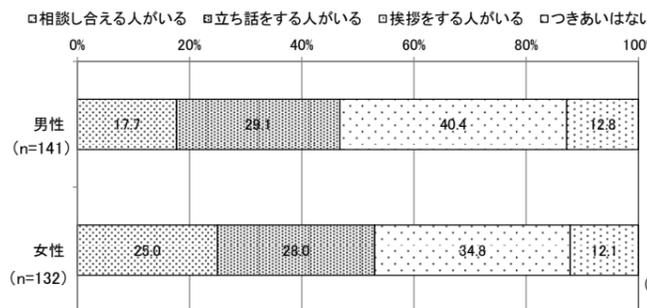
あなたの、地域におけるボランティア活動や趣味のグループへの参加状況についておたずねします。参加している場合はどのような活動内容ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(参加していない場合は、「参加していない」をお選びください。)
1 スポーツ・文化・芸術に関する活動 2 まちづくりのための活動 3 子供を対象とした活動 4 高齢者を対象とした活動 5 防犯・防災に関する活動 6 自然や環境を守るための活動 7 食生活など生活習慣の改善のための活動 8 1~7以外の活動 9 参加していない

※「地域におけるボランティア活動や趣味のグループへ参加している人」は、「スポーツ・文化・芸術に関する活動」、「まちづくりのための活動」、「子供を対象とした活動」、「高齢者を対象とした活動」、「防犯・防災に関する活動」、「自然や環境を守るための活動」、「食生活など生活習慣改善のための活動」、「前述以外の活動」のうち、1つでも参加していると回答した人。

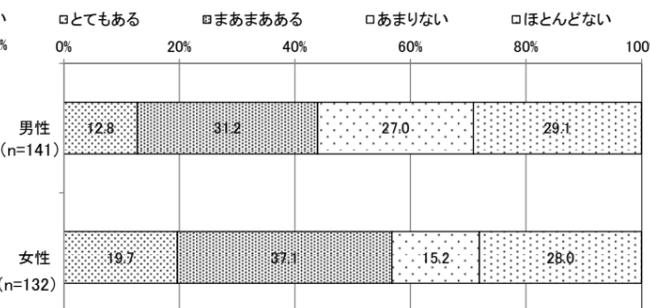


平成28年度第3回福祉保健インターネットモニターアンケート結果(対象者数:430人、回答者数:273人、回収率:63.5%)

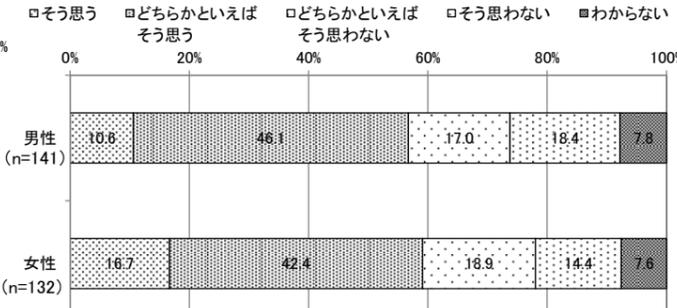
地域の人とのかかわりの状況



居住の地域における違う世代の人との交流の機会の状況



居住の地域に対する困ったときの助け合い、支え合いの意識



地域のボランティア活動や趣味のグループへの参加状況

